

知的障害のある人にわかりやすい放送とは

大和大学保健医療学部

藤澤和子

知的障害とは

- ・発達期(18歳まで)に発症
- ・概念的、社会的、実用的な領域における
知的機能(知的能力)と適応機能(社会生活
に関わる)両面の欠陥を含む障害
- ・一般的診断基準 IQ70以下
 - 軽度 IQ50～69
 - 中度 IQ35～49
 - 重度 IQ20～34
 - 最重度 IQ20以下

DSM-5(アメリカ精神医学会(APA)が作成している精神障害の統計・診断マニュアル)

情報取得に関する知的障害の障害特性

- 言語理解の弱さ
 - 語彙と文
 - 話しことばと書きことば
- 想像する能力の弱さ
- 状況や時間の認知の弱さ
 - 時間の経過 文脈 場面の変化
- 他者理解の弱さ
 - 感情 行為
- 現実吟味の弱さ
 - 現実と非現実の混乱

見える ・ 聞こえる

情報は知覚できるけれど、理解できない。

知的障害者がわかりやすい番組制作の試み

音声解説と字幕を付ける。

視覚障害者のための音声解説

聴覚から情報を伝える

聴覚障害者のための字幕

視覚から情報を伝える

知的障害者のための音声解説と字幕

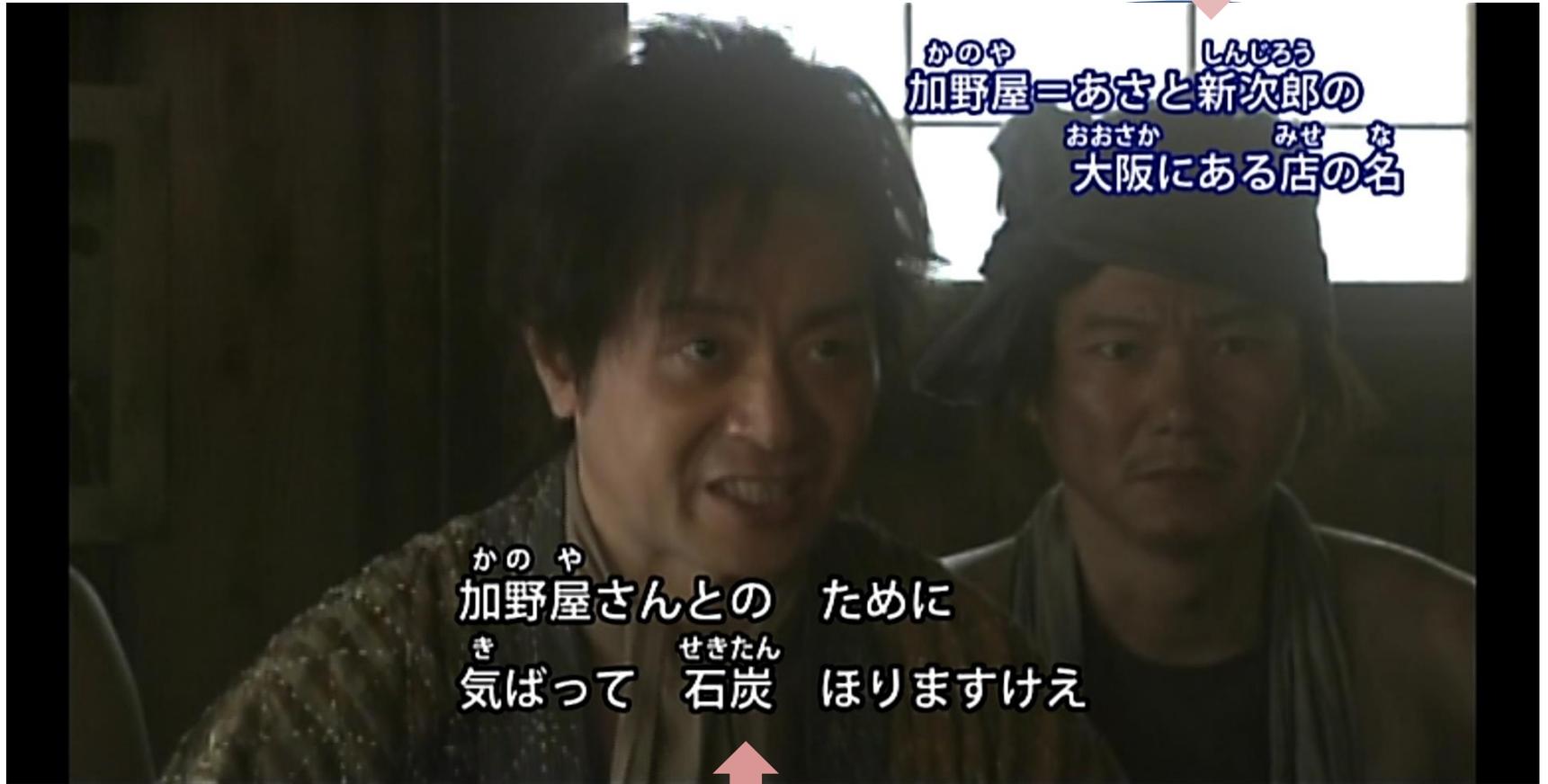
情報をわかりやすく伝えるために利用する。

知的障害者がわかりやすい番組制作の試み

映像はそのままにドラマとニュースに
音声解説と字幕を付ける試み

	あさが来た	NHKニュースウォッチ9
音声解説	状況や気持ちなどの説明をセリフやナレーションの間に入れる	わかりやすい解説をアナウンサーの声の上にかぶせる
字幕	セリフ ことばの意味 ほぼひらがな 漢字にルビふる	かぶせた音声 漢字にルビをふる

字幕 ルビふり版 ことばの意味の説明



↑
セリフ

字幕 ほぼカナ版

ことばの意味の説明



りょうがえや=むかしの ぎんこう

りょうがえや いうて かねかし してる
うちのかぎょうが ほんま いやになってしもうてん



セリフ

知的障害者のためのわかりやすいテレビ番組の ガイドライン

基本的な話し方

- ① ゆっくり話す。
- ② 年齢に相応しいことばを使う。
- ③ 具体的に話す。

「原案」⇒「お話を作った人」

「脚本」⇒「セリフなどを作った人」

「今は別々に管理されているさまざまな個人情報が」

⇒「例えば、Aさんの個人情報である名前、生年月日、住所、年齢、罹った病気、納めている税金や年金等の情報」

④ 複雑な表現は避ける

「サイバー攻撃」⇒「悪い人にコンピューターの情報を勝手に取られたり消されたり」

⑤ シンプルな構文で話す。

「このように、さまざまな個人情報がマイナンバーと結びつけられて管理される一方で、日本年金機構の情報漏れに代表されるように、多くの個人情報が流出するのではないかという懸念が根強くあります。」

⇒「さまざまな個人情報が、マイナンバーを見るとわかるようになります。

しかし、一方で、国民の年金を扱う日本年金機構が集めた個人情報が他の人たちに勝手に見られてしまった事件が occurred。

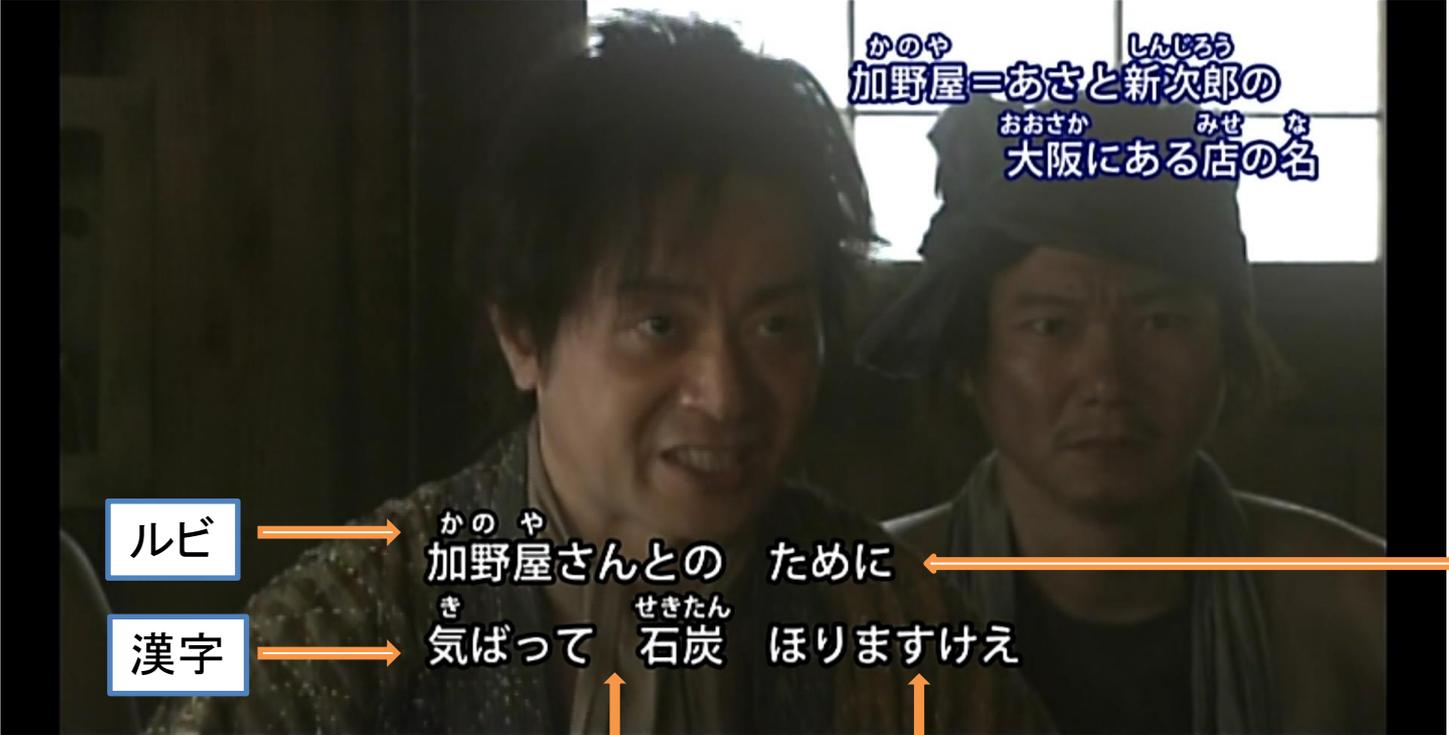
そのため、マイナンバーの個人情報も同じように見られてしまうのではないかという心配が強くなります。」

画面の視覚的な配慮

- ①音声は、字幕で画面に表示する。
- ②文字表示を配慮する。
- ③話しことばの理解を助けるために、非言語情報である視覚イメージ情報を併用する。
動画、図や絵、写真、実物、模型等
- ④色覚異常に配慮する。
- ⑤てんかん発作を誘発するちらつきがある時は、注意を促すための表示をする。

文字表示の配慮

ルビふり版



ルビ

かのや
加野屋さんとのために

漢字

き せきたん
気ばって 石炭 ほりますけえ

改行

わかちがき

ゴシック

音声解説や字幕の利用

- ①場面の変わり目では、変わったことがわかる説明をする。
「場所変わる 大阪 加野屋」
- ②時間の変わり目では、時間の場面が変わったことがわかる説明をする。
「子どもの頃の話をする新次郎」
- ③難しいことばは、意味を説明する。
「のれん分け」⇒「はたらいている人に 同じ名前の 店を出させること」
- ④人物の表情の変化や気持ちを説明する。
「新次郎のことが好きなふゆ」
- ⑤人物の行為の意味の説明をする。
「新次郎が帰っていくのを見ている男。その男の様子が気になるあさ」

⑥CM画面に変わるときは、「コマーシャルです」
等と、CMに場面が変わったことがわかる
説明をする。

⑦「この番組は、ほんとうにあった話ではありません」
「このお話は、作り話です」等と、ドラマや
フィクションが現実のことではないことが
わかる説明をする。

当事者への視聴調査

- 画面をとめて説明しているなので、わかりやすい。
- わかりやすく教えてくれている。個人情報が必要なところがわかりやすかった。
- 普通のニュースでは、専門用語があってわかりにくいですが、これはなかったなので、わかりやすかった。
- 詳しく説明している。
- 字幕があるため画面が見にくいところがあった。
- 画面がとまって説明が入るので、壊れたかと思った。
- 手続きの方法について、詳しくしてほしい。
- 大事なところは、2度繰り返して言ってほしい。

今後の課題

- 知的障害などを対象とした番組を制作し、制作方法のハウツー(ガイドラインの具体例)を集積する。

例)「わかりやすいニュース」(週1回)

- IPTVで、既存の番組にわかりやすい字幕と音声解説をつけて放送する。

NHKバリバラ

テレビのバリアフリー②知的障害

2月24日(日)よる7時～7時半 Eテレ

3月1日(金)よる12時～12時半(木曜日の
深夜) Eテレ